

TYS125F 用 KO 油圧クラッチキット

(ロングライドにも対応)



組み込みマニュアル

このたびはKOLレーシングの TYS125F 用油圧クラッチキットをご購入いただきありがとうございます。性能を100%発揮させるために正しく取り付けてください。このキットの特徴は、すべての部分がフルアジャストできる点にあります。作業者の熟練度により、性能を発揮されないばかりか破損の危険もあります。このマニュアルを熟読され、好みの状態になるまで根気よく作業してください。うまくいかない場合は、部品の欠陥と決め付けず、お気軽にKOLレーシングまで直接お電話 お問い合わせ下さい。 TEL:0996-72-7028

警告...このパーツは競技専用で作られており 公道での使用は処罰され、あらゆる損害は保障されません。

組み込み手順

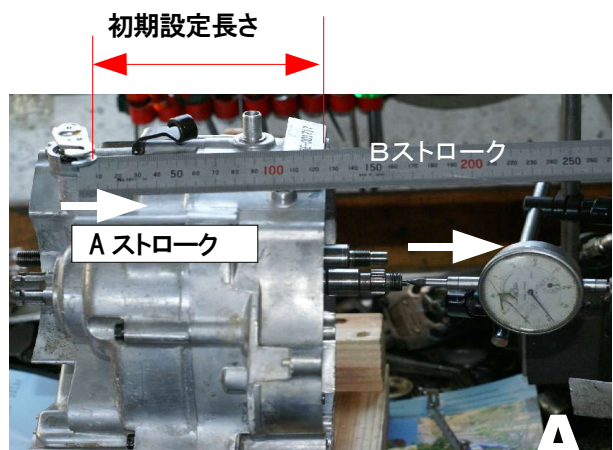
- 用意する物...図1のようにウォーターポンププライヤー プライヤー 1.5ミリヘキサゴンレンチ
- マスターシリンダーを取り付け、ホースを図2のように、ブリッジとハンドルの間を通します。
- ホースはシリンダーやヘッドに触れないように取り回します。ハンドルを左右に切ってもホースが引っ張られないことを確認します。ホースを引っ張るような力が加わると 継ぎ手部分から漏れが発生します。



写真Z

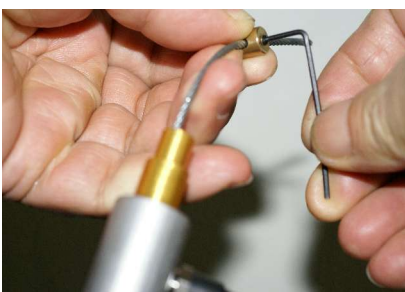
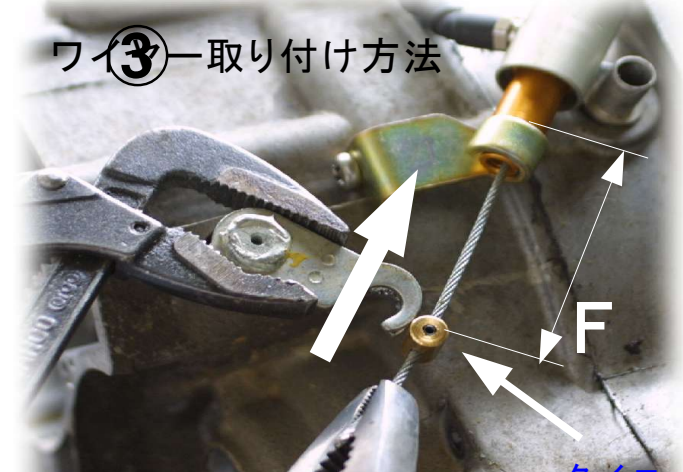
油圧システムをつける前に、上のようにレバーを軽く指で押し止まった時の先端とクラッチカバー合わせ面との距離が110ミリ～115ミリであるかどうかを必ず確認してください。クラッチ内部パーツを交換した場合やオーバーホールを行った場合は特に注意が必要です。調整方法はクラッチカバーを外し、プレッシャープレート中心の調整ボルトで行います。

この設定が正常で無い場合 油圧であっても切れ不良 遊び変化が発生します。



初期設定長さがなぜ110ミリ～115ミリでないといけない理由は以下の通りです。右写真のような方法で レバーを動かしたときのストロークを Aとし それにより動くプッシュロッドのストロークをBとします。

まず 初期設定を 120ミリにして Aを5ミリストロークさせたときの Bのストロークは ダイヤルゲージ測定の結果0.6ミリ次に115ミリにして Aを5ミリストロークさせたときの Bのストロークは 1ミリでした、つまり 115ミリにしたほうが クラッチの切れがいいことがわかります。プッシュロッドはプレッシャープレートを動かします。この初期設定長さ110ミリ～115ミリは ノーマル 他社製クラッチ容量アップパーツ などすべて当てはまります。



タイコの位置調整中 真ん中に有るホローセットボルトでワイヤーに固定します、締め込みが弱いと使用中に緩んで非常に危険です。

出荷時 F長さは、写真Zのように設定した場合の長さ75ミリにしています。

取り付けは上図のように行います。レバーが写真Zの寸法以内にある場合は、タイコの位置をいじる必要はありません。切れ不良や つながり不良の場合はいろいろ触らずに まず写真Zの寸法になっているかどうか 成っていない場合は面倒でも調整しなおしてください。



レバー遊び調整方法...指が届かないなどの理由で遊びを多くしたい場合は左写真のように、つながるポイントを先のほうにしたい場合は右写真のように。 限界点はリザーバータンクのフタを外しレバーを握ったときに勢い良く液が飛び出せばOKです。飛び出さない場合は調整ネジの締めすぎで 温度変化で遊びが変化してしまい油圧の利点 自動調整が機能せず最悪破損します。